

主事室便り



教務主事
高橋 徹

教務主事室は学生課とともに教育課程・カリキュラム・授業・成績・学習支援・教育環境・入試業務などの教務全般を担当しています。

全国の高専に導入されているモデルコアカリキュラムは全分野の学習項目と到達レベルのミニマムを定めたものですが、高専教育の「言語化」を行うことにより社会に対して高専教育の質を保証する仕組みでもあります。本校もこれに完全対応しており、この実質化のうえに独自の教育が加わって本校のカリキュラムになっています。

共通の教養基礎とともに各学科の専門基礎もしっかり身につける科目が配置され、高学年では専門力を様々に応用したり深めたりするための科目が配置されています。さらに、アグリエンジニアリング教育や災害レジリエントマインド育成教育など、技術者としての素地を広げるために学科の枠を超えて共通に学ぶ教育プログラム科目も充実しつつあります。特に各地での災害の発生にともない、防災・減災に関する教育を充実することは技術者教育における重点課題であると考えています。また、情報化社会の高度化の波も著しく、非情報系学科を含むすべての学科における情報教育の強化・高度化にも取り組んでいく必要があります。一方、技術のグローバル化に伴い、英語力の向上は技術者として必須になりつつあります。毎週水曜日のイングリッシュルームやニュージーランド短期語学研修、UTP大学との交流プログラムなど英語力の増強を支援するための教育環境も充実してまいります。

共通の教養基礎とともに各学科の専門基礎もしっかり身につける科目が配置され、高学年では専門力を様々に応用したり深めたりするための科目が配置されています。さらに、アグリエンジニアリング教育や災害レジリエントマインド育成教育など、技術者としての素地を広げるために学科の枠を超えて共通に学ぶ教育プログラム科目も充実しつつあります。特に各地での災害の発生にともない、防災・減災に関する教育を充実することは技術者教育における重点課題であると考えています。また、情報化社会の高度化の波も著しく、非情報系学科を含むすべての学科における情報教育の強化・高度化にも取り組んでいく必要があります。一方、技術のグローバル化に伴い、英語力の向上は技術者として必須になりつつあります。毎週水曜日のイングリッシュルームやニュージーランド短期語学研修、UTP大学との交流プログラムなど英語力の増強を支援するための教育環境も充実してまいります。

学力を向上するためには、コツコツと継続的にそして主体的に学習を続けることがとても大切です。小さな目標を達成しながら大きな目標を達成していく計画性のもとに着実な歩みを重ね、将来に向けて確かな素地を培っていただくことを願っています。



学生主事
川内谷 一志

本年4月より学生主事を務めさせて頂いております。学生主事室は、昨年からの引き続いて

西村俊二主事補(学生会、1年生オリエンテーション、高専祭、ロボコン担当)が残り、新しく、山本通主事補(音楽祭、特活担当)、上野崇寿主事補(体育行事、クラブリーダー研修担当)、藤本教寛主事補(車両指導、巡回指導計画担当)が加わりました。また、事務部では4月に野口修学生課長が着任されました。野口修学生課長、馬場良子学生支援係長、4名の主事補と一緒に、学生が楽しい学校生活を送れるように頑張りたいと思います。

4月には新入生オリエンテーションが「香々地青少年の家」で学生会主導のもとで行われました。一泊二日の日程でしたが、学生会、各科指導学生の指導力が素晴らしく、新入生にとっても有意義な研修だったと思います。5月には球技大会があり、各クラスとも優勝に向かって熱い戦いが繰り広げられました。また、学生総会では、決算報告、監査報告、予算案の審議があり、原案どおり了承されました。

6月末から7月にかけて行われた九州沖縄地区高専体育大会では、4月からクラブ活動の時間が短くなったにもかかわらず、陸上、ソフトテニス、水泳、野球、卓球、剣道、テニス、柔道が全国大会出場を果たしました。

後期には、体育祭、高専祭、音楽祭、プロコン、ロボコン、九州沖縄地区高専ラグビー大会等があります。九州沖縄地区ロボコン大会は、大分高専が担当で別府アリーナで行われます。2回目の「ロボコン大賞」に向けて頑張れロボ研部!!



寮務主事
小西 忠司

4月より寮務主事を拝命致しました機械工学科の小西忠司です。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、本年度の寮の体制について説明します。寮務主事補は、新たに中野壽彦(機械、2寮担当)が加わり、朝美淑子(一般文系、1寮担当)、石川誠司(電気電子、3寮担当)、石川秀大(情報、4寮担当)、トメック(一般文系、5寮担当)が昨年度からの継続です。専任職員は、昨年10月より大分大学から係長として赴任された後藤敦史が新たに加わり、糸長美智子が継続です。寮母は、新たに高崎亜希が加わり、工藤洋子、橋本伊津美は継続です。学寮指導員は、昨年度から引き続き佐藤満則、尾渡誠一、平山幸生、佐藤秀己です。寮務主事室会議として野口修学生課長、重光厚志学生課長補佐が新たに加わりました。寮食は、(株)魚国総本社九州支社から提供されています(前述は敬称略)。

8月1日現在の寮生数は、190名で男性80%、女性20%の割合です。全学生に対する寮生の比率は22%です。4月から新入寮生として、1学年41名、3学年にカンボジアとマレーシアから各1名の留学生が入寮しました。また、8月に寮生会新役員が決定し、寮長は、吉田圭吾君(電気電子4年、陸上部)、副寮長は、佐藤快成君(都市・環境3年、野球部)が就任しました。

前期の主な行事は、毎水曜日の低学年向け学習会、5/9寮内清掃・除草作業、5/23寮内講演会(女子寮生向け)「しずかちゃん(ドラえもん)から学ぶコミュ力」、5/29寮防災訓練(イザというときの「勇気と自信」が必ず身につく防災訓練)、6/25学寮バレーボール大会、7/6オープンキャンパス(学寮案内、昼食体験)がありました。バレーボール大会は、女子2、男子7チームが参加し、白熱したゲームが展開されました。今後も、寮生が安心して生活できる明野寮でありたいと願っています。